

第3期 子ども司書講座 新聞 第6号

本を大切にするためにできること

どうしてブックコートを貼るの？



第6回目は、図書館の本に貼られている透明なカバーの秘密について学習しました。透明なカバーはフィルムになっていて、ブックコートと呼ばれるフィルムになります。みなさんのお家にある本に、図書館の本のように、ブックコートが貼られていることはあまりないかもしれません。なぜ、ブックコートを貼っているのでしょうか？

図書館の本は、いろいろな人が読んだり、調べものに使ったりするので、汚れてしまったり、壊れてしまうことがあります。本を長く大切にしたい、たくさんの人に使うてもらえるように、図書館では本にブックコートを貼っています。

こうすることで、傷や汚れから本を守ったり、太陽光、蛍光灯などによる本の色あせや日焼けなどを防ぐ役割もあります。

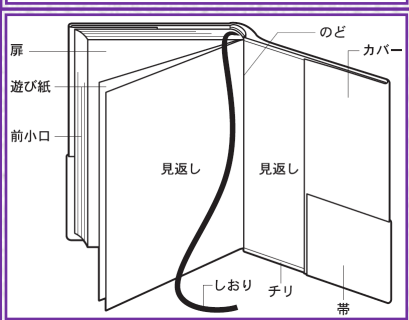
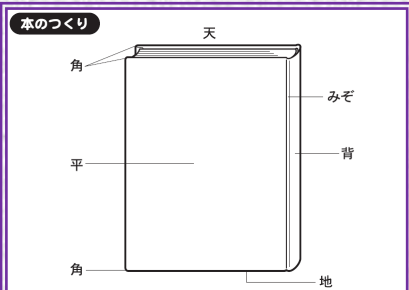
右の写真のように、いろいろな種類や大きさがありません。本の大きさに合わせて使います。

それでは、どのようにブックコートを貼るのか見てみましょう。最初はとも難しく感じるかもしれませんが、慣れてしまえば簡単です。また、いろいろな貼り方があります。今回は、図書館と同じ方法を説明します。まずは道具の準備です。お家の本にブックコートを貼りたいと思ったら、街のホームセンターやインターネットでも購入できますので、お父さん・お母さんに相談してみてください。また、本は、失敗してもいいように、はじめは練習用の本を用意してみてもいいでしょう。右の図のように、表紙や背、見返しなどいろいろな呼び方がありますので、この機会に覚えてみましょう。

道具の準備

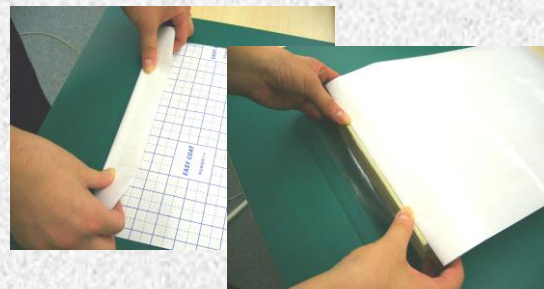
- ・定規 (30cmくらい)
- ・カッターまたはハサミ
- ・カッターマット (なるべく大きいもの)
- ・ブックコートフィルム
- ・本! (練習用も用意)

本の仕組み



ブックコートの貼り方

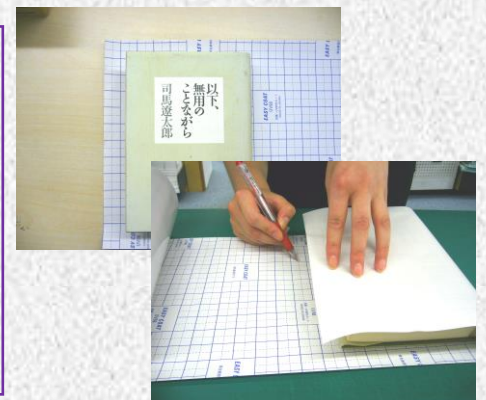
③ブックコートを40mmのところ折り目をつけます。折り目まではがしたら、30mmを折り返し用に残し、残りの10mmを表紙に貼ります。



①本のカバーの天と地を5mmほどカットします(4箇所とも)。



②本を置いてブックコートの幅を確認してカットします。



ホームページ公開中